

平成25年度 城東区区政会議 地域まちづくり部会（1月）

日時：平成26年1月14日

開会 19時00分

○奥野課長

定刻になりましたので、ただいまから平成25年度城東区区政会議地域まちづくり部会を開会させていただきます。

私、本日の司会を務めさせていただきます総合企画担当課長の奥野でございます。よろしくお願いいたします。

区政会議委員の皆様には、昨年11月14日の部会で活発な御議論をいただき、また新年のお忙しい中の御参加まことにありがとうございます。本日もよろしくお願いいたします。

次に本日の手話通訳の方を紹介いたします。手話通訳を担当されるのは、城東区手話サークルひだまりの皆さんです。秋山さん、山元さんです。よろしくお願いいたします。

（拍手）

○奥野課長

委員の皆様におかれましては、御発言に当たりまして、マイクを通して少しゆっくり目に話していただければ幸いです。マイクは区の職員がお持ちいたします。

なお、本日の会議でございますけれども公開の会議でございます。現在報道機関は来られておりませんが、もし来られましたら写真撮影を許可しております。また、議事録を作成する必要があるため、会議を録音させていただきますので御了承のほどよろしくお願いいたします。それでは早速開会してまいります。まず、城東区長の細井から御挨拶申し上げます。

○細井区長

皆様、新年明けましておめでとうございます。御多忙のところ、御参加いただきましてまことにありがとうございます。また、平素は大阪市政並びに城東区政に深い御理解、御協力を賜り御礼申し上げます。城東区は去年の4月に区制70周年を迎えました。今年度はさまざまな市民行事も開催し、皆様には格別の御協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。委員の皆様には、区政会議や新しい制度、任期期間を迎えましてから10月に本会、11月に部会と真摯な御議論をいただきました。このたび、再度1月部会を開催させていただきましたが、開催趣旨などは後ほど御説明させていただきます。皆様には、数度にわたり御足労いただきますことにまことにありがとうございます。私は城東区長として2年目を迎えておりますが、南海トラフ巨大地震対策を初めとする防災・減災対策の推進、地域全体で考え支えあう地域福祉システムの構築、区の都市魅力資源である城北川のブランド化を推進し愛着のある活気にあふれたまちづくりを重点的に進めてまいります。区政会議は、区民の皆様と意見交換しながら、区政運営に取り組むことを趣旨として開催させていただくものでございます。皆様の一層のお力添えを賜りながら区民一人ひとりが輝き、活気にあふれ、まちが輝き、愛着のある「輝く城東区」を目指し区政運営を進めてまいりたいと思いますので本年も引き続きよろしくお願いいたします。

(拍手)

○奥野課長

それでは、まずお手元に資料がございます。1枚目をめくっていただきましたら部会名簿が書いております。そして2枚目も各部会なんですけれども、別紙のほうで座席表がございます。その中で少し変更なんですけれども、あらかじめ青野委員、栗田委員、新谷委員、東海委員につきましては御欠席というふうにお聞きしておりますので、この座席から外させていただいております。それと人数の関係で今はお越しになっておりませんが、私から見て左側のほうの一番奥のほうにおられます鍔委員の席を右側のほうへずらさせていただいております。まだちょっと空席がありますのは、欠席の御返事はいただいておりますけれども今現在来られてないということでございます。鍔委員におかれましては、仕事の関係でおくれるというふうにはお聞きしてるところでございます。次に、本日の区政会議に御出席いただいております市会議員の皆様を御紹介させていただきます。

ホンダ議員でございます。

最後に区役所でございます。まず副区長の末永でございます。

総務課長の安倍でございます。

総合企画担当課長、私、奥野でございます。

それから後ろへ行きまして、支援活動支援担当の小西課長です。

市民協働課長渡邊でございます。

生活支援担当長尾課長でございます。

窓口サービス課課長の森田課長でございます。

保健年金担当の吉岡課長でございます。

以上でございます。

ただいま市会議員の飯田議員が来られました。

それでは、本日議事に入ります前に、お手元に配付させていただきます配付資料の確認をさせていただきます。先ほど別紙の座席表まで見ていただきましたけれども、そのあと配付資料といたしましては「平成26年度城東区運営方針（素案）」のところに中線が引いてありまして、案というふうに書いて11月15日付を消したものがございます。これは後ほど説明させていただきますけれども、事前に皆様には素案という形でお送りさせていただきましたが、お送りいたしましたあとも区のほうでいろいろと検討いたしまして、今案という形で掲げさせていただいております。前回の部会で御意見いただきました内容につきましては、この今回の部会で部会の意見も踏まえて集約させていただいて、最終的にはこの案をブラッシュアップしていきたいなというふうに考えておりまして、2月に予定しております本会でこの案を、最終的な案をお示ししたいということでございます。経過の説明は以上でございます。本日の次第ですけども、この案に関する御説明あるいは前回いただきました御意見の回答など、あるいは区政運営の反映状況などを前半に御説明を申し上げ、その後地域まちづくりに対する皆様の御意見をいただきながら議論は8時半をめぐりに進めていただき、延長がありましても9時には終了していただけたらというふうに思っています。それでは議事進行を部会長にお願いいたします。谷口部会長お願いいたします。

○谷口部会長

それでは議事に入らせていただきます。事務局議会に関する説明をひとつお願いしたいんですが、よろしくどうぞ。

○奥野課長

座って説明させていただきます。平成26年度城東区運営方針案というものが、そちらのお手元に入っておろうかと思えます。これにつきまして担当の課長それぞれ違うんですけども、私のほうからまずは一括して簡単に御説明させていただきまして、また運営方針の皆さんの御意見の状況も御説明させていただきたいと思えます。まず様式1ということがまとめでございます。その中で区長の方針といたしましては、区の将来ビジョンに基づき地域防災・地域福祉・地域まちづくりの3つの分野で重点的に取り組むということでございまして、地域防災の分野では南海トラフ巨大地震による津波、浸水被害が想定されるということも含めて、津波浸水対策などにも重点的に取り組むと。地域福祉につきましては、住のまちにふさわしい、ともに生き、ともに暮らす地域福祉の実現に向けた地域福祉ネットワークの構築に取り組むと。そして地域まちづくりにつきましては、地域活動協議会の地域活動支援及び区の都市魅力資源である城北川のブランド化推進といったものに重点的に取り組むというようなことを重点的に掲げております。今回、地域まちづくり部会につきましては、次に様式2ということで重点的に取り組む経営課題の中では、様式1は地域防災部会、2は地域福祉部会になりますので3ページですね、4ページ以降が今回皆さんのほうでまた御意見をいただくものになっております。したがって4、5、6、7と7ページのあるいは8ページも含めてが今回の地域まちづくり部会の議論となりますので、2ページ、3ページは省略させていただきます。

それで4ページ目ですけれども、まずまちづくりということで経営課題として「一人ひとりが自分らしさを尊重し、正しくまなび、人と人との絆を大切にし、愛着を持って住み続けられるまちへと」いうことを経営課題として挙げておりまして、その戦略として2つ、城東区の絆プロジェクトの推進と城北川ブランド化プロジェクトの推進を挙げております。

絆プロジェクトにつきましては、自分たちは戦略として自分たちの町を自分たちでつくろうを合い言葉にしている、きょうもそのメンバーの方も来られておられますけども、城東区ゆめ～まち～未来会議さんと、またその他社会教育団体人権・生涯学習等の取り組みを行う地域団体、NPO、商店、企業との連携をより強化にし、協働事業を展開することによってつながりやきずなづくりをしていこうということで、具体的にはSARUGAKU祭の開催でありますとか第九演奏会の実施と、そういったものを折り込んでいきたいというふうに思っております。

また、城北川のブランド化プロジェクト推進ですけれども、戦略にありますように地域資源の1つである城北川について城北川やそこで行っている防災活動、ドラゴンボート体験、ミニコンサート等の音楽、ウォーキング、スポーツ等の取り組みを知っている人をふやし、モツゴの育成や科学実験等の環境学習と市の活用や、城北川沿いにあった大阪大国技館を初め、歴史文化等の情報を通じて城東区への愛着を持つ区民をふやすということになっておりまして、その具体的取組としてアイラブ城北川実行委員会を含むアイラブ城北川ブランド化推進等の推進活動団体と連携し、城北川フェスティバルでありますとかキャンドルナイト等々、また実行委員会さんの皆さんの御意見も伺いながら幾つかの取り組みを行っていくということで、愛着を持

っている区民の方、関心を持っている区民の方をふやしていくということできずなづくりをしていく予定でございます。ただいま鍔委員が来られましたので。そういうことでございました。城北川につきましては、前回のまちづくりの御意見でもさまざまな形で出ましたけれども、城北川ブランド構築に向け、推進委員会実行委員会といろいろな議論を重ねながら進めていきたいというふうに考えております。続きまして5ページでございますけれども、地域活動の活性化ということで、今地域活動協議会というふうな形でいろいろとこちらのほうで地域のことで設立ということでございます。今般今福地域の地域活動協議会が成立されまして、区内16地域が地域活動協議会が成立したところでございます。今後、地域活動協議会ということの中で地域課題の解決やまちづくりについてさまざまな地域の活動主体が参加し、自主的な地域運営が実現した状態を目指してございまして、その具体的取り組みといたしまして地域活動協議会等への補助金の使途等が区ホームページ等で区民に周知するというところでありますとか、中間支援組織と連携して必要な支援に取り組むということ。その中間支援組織のほうを活用いたしまして、さまざまな地域活動団体との活性化の支援、担い手の拡大の支援といったことも含めて、体制整備、区役所の支援関係の構築も果たしていくということでございます。そして3番目に豊かなコミュニティづくりということで、新たにそれぞれこれはまちづくり全てのことなんですけれども、地域のイベントや活動に関して情報収集を図り、ホームページあるいはツイッター等いろんな媒体を通じて情報発信を行ったり、主催者に対して参加を呼びかけてノウハウを提供行ったりということで、地域が活発に活動していただけるような支援を行いたいということでございます。続きまして6ページでございますけれども、前回の部会のほうではなかなかこちらのほうには議論が及びませんでしたけれども、区役所づくりということで1つは窓口サービスの向上ということでございます。住民情報窓口につきましても、証明発行業務について民間委託をするといったことでありますけれども、区民満足の高い迅速正確丁寧な窓口サービスを提供していくということでございます。また、フロアマネジャーを活用して繁忙期の職員配置の工夫ということも含めて、窓口の処理がスムーズに進むように取り組んでいきたいということでございます。それと職員の人材育成ということでございまして、職員のスキルアップのための研修ということで、それぞれ民間の調査員を導入した職員、市民サービスの向上に向けた研修でありますとか、窓口対応、能力、電話対応の能力向上に向けての指導でありますとか、それから職員づくりということで新たに出しましたけれども、職員の有志からなる推進プロジェクトを活性化させて職員のやる気を引き出したいというようなことで、窓口サービスの向上と絡めて職員の人材育成も行っていきたいという趣旨でございます。7ページでございますけれども、区民ニーズの把握と情報発信ということでございまして、区政の情報を発信していくということでホームページとか広報誌やツイッターなどということで、とりわけなかなか区政に関心が薄いと言われてる若年層についても何とか効果的な情報発信を行うことができればというふうに思ったところでございます。また、区民の意見を計画段階からお聞きしてということで、この区政会議があるわけなんですけれども、こういった区政会議の開催もさせていただくということ。そして区民の安全、安心を見直す総合拠点ということで、さまざまな区民に対する相談が寄せられてくるところなので、何とかそれを取りまとめて皆さんに満足してもらえるように、そういった仕組みをこれからも強化していきたいという思いで書いておるということで

ございます。最後に様式3ということで、これは無駄を徹底的に排除し、ということでございますけれども、8ページ目は人事制度制度改革であったり、国民健康保険料の収納向上であったり、事業進捗状況であるとか、予算執行状況把握の徹底でありますとか、市民、利用施設のあり方の検討とか、そういった行財政運営も行っていくということでございます。最後に、前回お話の議題に挙げたところで特に自転車の問題について、この区の運営方針自体は区の事業を網羅的にやるものではないので、この自転車については少しこちらの部分には触れておりませんでしたけれども、いろいろと御意見も出ましたので今の現状をお伝えいたしたいというふうに思います。この中でよく出てきたのはいわゆる自転車のマナーの問題です。混雑してぶつかるといようなこともあるというように、押して歩きましょうとかいろんな対策はできないのかなというように御意見もございました。今、城東警察にもそのへん伝えておりまして、自転車の運転ルールに関して今後城東警察と連携しながら春の交通安全週間に合わせて4月の広報紙などそういったことを掲載しておくということやら、自転車マナーの注意喚起を区のホームページでも行っていきたいということでございます。また、自転車の乗り方につきましても今後いろいろな各方面と連携しながら、マナー教室みたいなものができればというふうには思っておるところでございます。また一方では、放置自転車という問題もございます。それにつきましては特に城東商店街などにつきましては、地元商店街と協議いたしておりまして、建設局のほうで商店街とも連携しながらいわゆる自転車撤去というようにことを効率的に、効果的に行えるように考えておるといようなことでございますので、自転車台数としては減っておるといようなことでございますけれども、まだまだ目に見えてこれはなくなったというように状況にはありませんけれども、かなり数的には少なくなっているということも聞いておりますので、今後とも建設局さんと連携をして放置自転車については効率的、効果的な自転車撤去というのを求めているというふうに思っておるところでございます。私のほうからは以上でございます。よろしくお願いいたします。

○谷口部会長

ありがとうございます。ただいまは、せんだって11月14日ですか、ここでやりました会議での模様を奥野課長のほうからお話をしていただきました。自転車に限らずいろんなお話が出ておりましたんですが、特に自転車のことが多かったように思いましたので、現状のことだけ、かいつまんで言うていただくようにと奥野課長にお願いしておりまして、今御説明がありましたとおりでございます。これからも会議を進めていきます上で、例えば今回もこれからも続いていきますけれども、一度この進めの上で出た話、これはやっぱり区役所のほうとしてとりあえずいいとこ、悪いとこいろんなことがあろうかと思いますが、とりあえずは取り上げてもらってその分はどうするんや。例えば今のお話でしたら城東警察署の管轄ですから、じゃ城東警察署にお願いするのか、いや区役所も一緒になってやるのか、いやいや皆さんでやりましょうというようにことになるのか、そういったことでこれからはいろんなお話が出ようかと思いますが、そういう形で話は詰めていきたい。すぐに結論が出ないものもあろうかと思いますが、遠慮なく御意見を言うていただいて取り上げていけるものは取り上げていきたいと、かように思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。それでは、ただいま事務局より説明がございましたんですが、これから委員の皆様方に御意見をいただきたいと思いま

す。御意見がございましたら、挙手をしていただきました上で、お名前を名乗っていただいた上で、御発言ということでお願いしたいと思います。ただいままでのことで何か御意見ございませんでしょうか、何でも結構でございます。突然大きな画面出されて小さな字で書いてありますよね、非常に見にくうございますね。途端にその意見を言われて、なかなか言えるものじゃないです。じゃ、区役所の皆さんあんた方が言うてみと言ったらどうですか、というようなことですけどね。お気についたことがありましたら、どうぞ御遠慮なく手を挙げていただきたいと思いますが。

○永安委員

地域活動の永安でございます。この全体を見ますと、基本的には区全体の取り組みとして捉えていいんですね。ただ、我々が考えるのはどうしても自分の地域のことばかりが頭にありまして、どうしてもこれになじめない部分がたくさんあるんですね。目指す効果、情報発信とかそういった面についても私どもの地域ではいろいろ行事をやっているけど、どんだけ人気度があるか、そんなもんは地域で一度アンケートなりをとってまとめてみたいというような方向も考えております。ただ、地域だけの話になりまして全体でどういうふうにか考えるかということ、こういう形でこれを見てる限りは全体としての大まかな方針ということになりますので、細かい点については我々もちょっとなかなか指摘するのも難しいんですけども、地域で捉えると出てくるんですけども区全体で捉えるとどうしても意見が出てこない可能性がたくさんあるんですね。それぞれの地域の代表とか皆さん出ておられますので、その辺がちょっとコメントというのも非常に難しい点があるなというふうに感じております。以上です。

○谷口部会長

ありがとうございます。永安さん、今おっしゃられたことをお聞きしておりますと、別段全体で物を言わないかんということではなかろうかと思えます。地域、地域の代表の方もいらっしゃるんですけど、狭い範囲内での話になるけどという意味の前置きでも1つしといていただいて、それがほかの地域の同じような状況、うちもそれに近い話やというようなことにつながっていくかもしれませんので、城東区全部をとということじゃなくて地域、地域のことでお話をしていただいたらよろしかろうかと思えます。どうぞ、よろしくお願いします。あとは事務局のほうで、またします。

○高橋委員

成育の高橋です。よろしくお願いします。どういうふうに質問したらいいのかちょっとわからないのですが、例えば先ほど自転車の問題が出ましたね。こういうような個別の話をするんでしょうか。あるいはもっと大きな、全体的なまちづくりについての全体的な発言、自転車のマナーというのも1つのまちづくりになると思いますけれども、そういうのはどういうことなんでしょうか。

○谷口部会長

私が答えるより、区役所答えたほうがいいと思う。私は私で意見持ってるけど……。

○奥野課長

大きな話を含めながらといって具体的な話になると、なかなか雲をつかむような話になりますので、そこはそういう自転車のマナーとかそういう1つの問題でも構わないので。

○高橋委員

気のついたところから何でもいいんですね。

○奥野課長

はい。

○高橋委員

まず、きょうもこちらへ来しなに自転車に角で当てられた、当てられかかったんです。やっぱり非常にこの自転車というのはマナーが悪いですね。私は歩道のない左側を通行しておって、相手は向こう側から右側を走ってきたわけやね、自転車で。曲がり角で当たりかけて危うくも僕は身が軽いもんやからばっと逃げたんですけれど、次にこちらに来る道にちょうど蒲生公園が今道路がなくなってますね。もう一つこれは南側になる道路を通ってきますと1メートルの歩道なんです。そこに電信柱があるんですよ。たった1メートルの歩道で電信柱がどんとある。これはいわゆる私は元気ですからなんですが、身がい者の車椅子の方なんかは通りにくいんじゃないかと。本当は城東区を電柱のない町、みな地下に電柱を、電線を入れてほしいんです。それが無理であれば、せめて歩道が、メートルしかないいわゆる2メートルもないような狭い歩道のところの電柱をまず最初にとってほしい。気持ちよく、歩道は安心して通れるようなシステムにしてほしいと思います。こちらへ来しなにその道で後ろから自転車がベルを鳴らして我が物顔にしてるんですが、私がぼそぼそと歩いておればなんですけれど、自慢するじゃないけどゴルフは常に遊んでおりますんで足は速いほうなんです。自転車とか負けんぐらいに早く歩いておりますけど、それをまだ後ろからベルを鳴らす。電信柱あるんやからそのところは理解せないかんわけなんです、これが車椅子とかいろんな方の障がい者の方であれば本当に大変なことだと思うんです。もっと歩道は狭いならば、狭くても仕方がない、道路のあれによって狭くしてはるのはわかるけれど電柱というのは、電柱をあっこへ置かれると60センチぐらいしかないと思うんですよ。だからこういうのはまず撤去してほしいと思います。

それから一番最初に南海トラフの話が出ましたんですが、確かに前宣伝は大き過ぎて我々は非常に困ってるわけなんです、大阪市はどのようにそれをとっているのかということなんです。新聞では大きくそういうふうに出てるが、大阪市のほうはどういう対処するんかということがまず大阪市からの具体的な説明がない。あるのは小学校は避難場所になってると。堂々とあっちこっちに宣伝してるんです、避難場所。ところが私は成育に住んでおりますが、成育小学校に避難しろと言うけれど、避難すればどこへ避難するんですか。教室へ避難するのか体育館に避難するのか、どういうことなのかということなんです。体育館へ避難しろということであれば、体育館は雨漏りはするわ、壁は雨水でぼやけてるような状態で、これやったら家におるほうがずっとましよ。こんな無責任な避難場所というのはすぐに撤去してもらいたい。南海トラフがあろうが何のあれがあろうが避難しても自慢できる、我々がそこへ避難しなさい、それやったら大丈夫やと言えるような避難場所を設置してもらわんことには。それが今現在お金ないお金ない、お金ないからできない、南海トラフ目の前にきてた。今城東区は海拔何メートルか御存じですか。区役所、教えてください。御存じない、非常に上っ面ばかりのことをしておられるんですよ。私が直接調べたことはないんですけど1メートルと聞いております。ちょっと津波が来たら全部浸かってまいりますよ。もっと現実的な話をちゃんとしてね、まちづく

りに。私もまちづくり部会に入りましたからドラゴンボートも乗りましたよ。実際やりまして向こうもしましたけれど、どちらかというと成育は城北川城北川言われても城北川にどうも遠いから現実的にはないわけなんです。実際のまちづくりというものはもっと地域ごとに自分でつくっていったるわけなんです。失礼やけど区役所あてにしてませんよ。自分でつくらないかんわけなんです。自分でやっていきたいとこのように思っております。ですからいろんな、あんまり私長過ぎてしゃべってるかもわかりませんが、やはり城東区全体で先ほども申しましたように電柱がないまちというのは、こういう大きなことを考えてもらいたい。そういうようなのも各地域で、成育はまちどの道を通っても明るいまちだと、暗いところは1つもない、晩になっても。明るいまち、とにかくその次にやはり環境に優しいまち、いわゆる1メートルの道路では歩道ではだめだ、歩道には絶対電柱をしない、こういうことのとにかくいろんな地域ごとにそういうような具体的な案を出しながら進めていきたいなと私は思っておりますけれどね。あんまり長くて、ごめんなさい。

○奥野課長

すみません、ありがとうございます。ちょっと私のほうからいいですか。ごめんなさい、先ほど何でもいいと言ったんですけども、基本的には防災・防犯については防災・防犯部会のほうで別の部会になりますのですけれども、それについてもただお話も出たんでそれに対して1点考え方を説明はさせていただきますけれども、ちょっとお断りだけさせていただきます。

まず電柱の話ですね、自転車のマナーがいうことでした。確かにまず歩道が狭いというところもありますけれども、今自転車専用道路、いわゆる自転車が通行かねないのところは歩道やなくて車道走りましょうというようなことになっています。ただなかなかそういったところが最近の法律が改正されたということもあって、なかなか皆さん守られてないというよりは御認識がないのかなというようなことがあって、歩道のところでいろいろと前にも出てましたけども、いろいろな怖い目に遭ったとか会長さんもさっきおっしゃっておられましたけども危ない目に遭ったということもあろうかと思えます。この辺につきましては、本当になかなか啓発というか人のマナーの問題ですのでなかなか難しいことではありますけれども、警察署とも連携しながらさまざまな対策を立てていきたいなというふうに思っております。

○高橋委員

歩道を自転車だけでなく、電柱があれば歩きにくいじゃないですか。そういう意味で言うてるわけでない。まして車椅子はどこを通るんですか。

○奥野課長

車椅子は歩道ですね。

○高橋委員

そうでしょ。車椅子の話をしてるんじゃないですか。自転車を確かに悪いと思います、歩道でないからね。だけど、ああいう一方通行でしょ、あそこのところはね、あんなところは両端に歩道があるねん、あれというのは保健所があったために両方に歩道をつけてるわけなんですね。あんな歩道を両方につける必要ないんですよ、片方にまとめたらゆったりと歩道歩けるわけなんです。1メートル以内の歩道っていうのは、やはりこれは歩きにくい。

○奥野課長

そうですね。

○高橋委員

それから明るさをいうのは、明るいまちづくり何も防犯の問題で言ってるんじゃないんです。ええように勝手にとられたんでは困るわけです。

○奥野課長

ちょっと言い方悪かったですね。

○細井区長

すみません、ちょっと体育館のほう、学校のほうに雨漏りとかっていうお話あったので、それはちょっと後日また担当から行かさせていただきまして、本当にするようであればまた教育委員会のほうとお話して、後日また会長のほうに御連絡入れます。それと南海トラフ巨大大地震なんですけれども、16校の小学校だけではどこにいてるかわからないので、これはあかんやろということで中学校の6校と高校の4校に避難の物資の備蓄をし始めております。それと民間で協力してくれるとこ、そこをお声がけまたは向こうから言ってきてもらったりということで、少しでも拠点を多くするというのが第一段階だと思うんですよ。私も行政というところに入って初めて知ったんですけれども、備蓄は物資を24区じゃなくて5カ所か6カ所にまとめて置いてるんですね。そこから何かあったときに引き出してこななければいけないのでこれは時間がないということで、城東区は今期3月ぐらいまでには備蓄物資を城東区の方はもう引き揚げてきまして各校下ごと、中学、高校あるいはいろんな場所に拠点をつくって備蓄の物資を今行わせていただいております。海拔1メートルってということで私も津波の心配はあるんですが、とりあえず全員の分とは限らない、全員配布っていうのはちょっと区役所としてはできないんですけれども、できるだけ多くの方のライフジャケット、そして救命ボートを消防署と連携して防災用のを購入する予定でございます。それとあと新聞に載ってこれちょっと一度危機管理室とか問題定義をどうしようかなと思ってるんですけれども、川の横の堤防の液状化っていうのが言われてますよね。これをお金をかけて強化することによって全くこの津波が来たときに対策が講じているのかを、講じてないのでは全く違うので、このあたりで予算化っていうのをどういうふうに区というか市がおろしていただけるのかなっていうことで、それはちょっとまだ今からもんでいくところで、とりあえず南海トラフ巨大大地震に関しては拠点を少しでも多く、どこにいてるかわからないので小学校自分の区域はすごい遠いけどこちらのほうが近い方とか、中学校が近いとかそういった面での拠点を広げかけております、今。また堤防の液状化については、これは大阪市の多分危機管理室だと思うんですけれども、担当のほうといろんな話をさせていただきます。ちょっと担当にかわります。

○渡邊課長

堤防の崩れるって話なんですけれども、もともと堤防がしっかりしてたら城東区津波が入ってこなかったかもしれないんですけれども、液状化現象で地盤が緩んで堤防が崩れるということで城北川と第2寝屋川の一部のところは古いタイプの堤防なので、それを補強していかないといけない、ハード整備なのでかなりお金も時間もかかるということでの課題がございます。それとは別に区長おっしゃいましたように早くどこに逃げるかという話とかそちらのソフト的なところの展開っていうことで両輪で進めていかなければいけないので、城東区としてもまた防災

部会のお話あるかもしれませんが進めていきたいということでよろしく願いいたします。

○高橋委員

本当言うたらね、これも防災のほうに入るんかもわからんですよ。南海トラフが今話題になったからお話してるわけだね。堤防高いから安全だということは絶対ないんですよ、よく逆流があるんです。ドラム缶飛んだ、あんな重たいもんが飛ぶというぐらいに逆流がきついということで、おとしでしたか去年でしたか決壊しそうやからということで夜中に連絡いただきましたんですが、こういうなんは堤防いっぱいいっぱいになってきてるからということなんですけれど、実質的にはああいう水門を閉めるのがおくれたとかいろんな状態があるんですが、災害って言うとなんていうもんなんですよ。せっかく何ぼやっても、人の力で動かさなだめだということは本当に安心して住めるじゃないんです、住めるまちじゃない。やはりまちづくりとするなればやっぱり細かいところから注意をしながら進めてほしい。堤防がいいからだけではないと私は思います。

○藤田委員

藤田でございます、こんにちは。いつもありがとうございます。私のほうは3点なんですけれども、今高橋委員がおっしゃったことに含めてですけれども、電信と一緒に樹木の件も歩道には少し大きくなり過ぎたり間隔が本当に1メートルぐらいにずっと並んでるような地域もありますので、ぜひともこれは区としても皆さんと一緒に総点検のときがきてるんだと思います。歩道に関しての総点検を提案したいと思います。2点目ですけれども、4ページにありますけれども、ゆめ～まち～未来会議としてフラワーロードをつくろうと思って活動を進めてまいりましたがけれども、特に城東区の場合は今里筋線の道路が非常にごみと樹木が氾濫しておりまして、ぜひともこの今里筋線蒲生4丁目から緑橋の地域ですけれども低木化をお願いしたいなと思っております。というのは、やっぱり1メートルぐらいの、ざっと植えている163の道路なんか本当にごみが少なくてさとした道路になっておりますので、ぜひこの今里筋線の樹木の考え方とごみの撤去ができるということを2つ目の提案です。それともう一点は、大阪市の女性会なんですけれどもいろいろな問題がありまして、大阪市の女性会としても新聞も5月で終わるとか、いろんな意味で今女性会に関しての意識とかいろんな意味で停滞しておりまして、城東区も近々と思いますけれども城東区長にお聞きしたいんですけれども、今後町会の女性部っていう認識じゃなくって、女性のためではなくって地域の方に半分以上は女性が住んでるわけなんで、女性の学習なり教育っていう意味ではいろんな役割を担ってきた大阪の連合の組織なんですけれども女性会が事実あるんですね。それが今、少しずつ崩れつつあるんです。そういう意味では今後城東区としての地域活動推進協議会の中の女性部がないと思うんです。各部門でやってる事業、各部会の中の女性協議会じゃないかな、そういうものが必要になってくる時代が今来てるように思います。というのは、女性部っていうのは町会の一部門でありますし、女性会を含んでいる地域もありますし董、諏訪さんのように女性部と女性会は別で活動させていただいてるような地域もありますので、今後やはり女性の視点、女性の目線というのは大事なことを、やっぱり大阪市がお金がないからって崩れつつあると言うのかな、崩れるかなってというような心配のあるような女性に対しての施策をやはり城東区としてもう一度旗を上げるときがきてるなと思ひまして、この3点の申し入れっていうものも必要なときようは考

えてきました。以上です。

○細井区長

ありがとうございます。またこの女性協議会とか今女性会、女性部いろんな活動してるのは存じ上げておりますし、またどういうふうにしたらいいのかとかこうしていただきたいとか、区としてできること地域として訴えていただけること、このあたりで整合性を持って女性同士頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○高橋委員

今女性会の話が出たんですけど、実質的に地域は女性にお願いするというのが非常に少ないんですよ。我々も町会によって女性部長さんを探すのに大変なんです。藤田委員みたいに積極的におっしゃっていただく女性の方が恐らくたくさんいてはと思うんです。いてはと思うんですけど我々のほうには、入ってこないわけなんですね。とにかくやってくれませんか、やってくれませんか、って頭を何回も頼みながら進めるんですけど、やっと成り立ってるというような状態でね。その集め方はどうしたらそういう人を集められるか教えてもらえたら一番いいんですよ。

○藤田委員

女性部っていうのが町会長の、なんというか、下っていうのはおかしいですよ。

○高橋委員

いやいや、そんなこと言ってない…。

○藤田委員

そういう意味では女性部のお仕事がお茶くみやって、変な言い方ここまで言わせてるような地域もあるんです。そういうんじゃなくてやはり女性会、大阪、全国的な組織の中ではほんとうに学習団体なんです。いろんなことを勉強させていただいて地域に発信する、そういうものだとは私は思ってやってまいりまして、べつに町会長の仕分けするような仕事だけじゃないっていうことをもっと皆さんに、地域に浸透させはったらもっとまちづくりのために私は動けるわっていう。だからそういう仕事やったら要らんとか忙しいだけやとかいう人が多いんじゃないですか。

○高橋委員

貴重な御意見ですけど、その地域によっていろいろありますね。きょうびなかなか女性会しっかりしておられますよ、そんなことで納得しはりませんよ。お茶くんでくれなんて、そんな、とてもやないけれど、そういうような優しい女性、おいでやないですよ。

○谷口部会長

よろしいでしょうか。女性会の話。

○藤田委員

一応提案しただけです。

○谷口部会長

参考までに女性会の場合は、城東区の場合は地域女性団体協議会として独立してるのは2つですか。董さんと諏訪さん2つですね。あとの14連合は女性部イコール女性会、そんな形で動いてますよね。だからそういう形で動いてるところにちょっと無理があるんかもかもしれません

ね。2人おったらいいのに1人でやってるという形ね。だからその辺のことをおっしゃってる意味はその辺だろうと思うんですけどね。それと高橋町会長もおっしゃってたんですけども、町会長さん方っていうのはそのことは十分わかっておると思うんです。女性も大事やし女性会も大事やと。もしそういうことがあれば遠慮なく言うたらどうでしょう、町会長に。自分の地域の町会長に物を申す、それがあかなんだらもう一つ上の連合会長と一遍話してみる。藤田さんのところは董、董だったらあの会長は何でも聞いてくれまっしゃろ。それは非常に優秀なところや。董さんはきっちりと稼いではるしね、女性会で。何かある言うたらすぐ店出しますわな。あれはほんま活発でよろしいですけどね。いいところを皆さんがお互いにまねしてくれたら一番いいんですけどね。やりなさいでやれるもんじゃないですから、提案されたことはいいことだと思います。ここにおる人だけでもわかっていただけたらと思います。それからちょっと話さかのぼって申しわけないんですけども、高橋さんのほうから今防災の話出てましたですね、南海トラフ。区長、これどんなんでしょうね。国ベースで言うとしたやつから大阪府は災害の予想出したのがむちゃくちゃ…それについて城東区で浸水する地域というのは、それまではゼロだったものが今回は…、そういうことについて城東区だけで、大阪府の状況を聞いた上でいいんですよ、わかりやすいような説明ができんかな。もちろんこれは防災部会の話になりますけども、ひょっとしてそっちの部会で話が出ておればいいですけど、もし出てないんやったらこれもまちづくりですから、まちづくり部会でそういう話も出たということで1回城東区としての防災マップ、どういうことで気をつけるとか。先ほど高橋さんがおっしゃってましたな。小学校へ避難する、その小学校があかへんというような話。そういうことも含めて、城東区としては災害が発生したときこうしようというような試案を出してもろて、これは消防署も含めてですよ。1回そういうものを出してもらえませんかね。城東区はこうしようという、その中には避難場所も含めて。関目ではありがたいことに第一機動隊がオーケーしてくれまして、避難場所。関目及び関目東。どうぞいらっしゃい、あそこの場所広いですしね、ビルも新築になりましたから。それが第一、人がおる。常時300人はおりませんけども災害発生したら、例えば関目、関目東あるいは城東区、城東区が大変なことになった場合にはどっかよそへ全部行くことありませんから、300人おる間の100人は最低残りますから、残ったメンバーがよそへ行くと。地元があかんのに動くということはできませんということをちゃんと言うてはります。だからできれば城東区として災害発生したときの水のこと、城北川のこと、私なんか城北川からあそこで液状化ですか、堤防が沈むという意味のことですから私らもようわからんのですけど阪神大震災のとき何ともなかったですよ。あのときは震度幾つでしたか、5弱、大阪。震度4でしたか、そうでしたか。

○末永副区長

西淀川とかは震度高かったですよね。

○谷口部会長

そうですか。

○渡邊課長

今大きな計画なんですけども、まず大阪府のほうで防災計画つくっていくというのがありまして、それをもったの大阪市の防災計画、市全体のですね。そのあとでそのデータをもとに城

東区でも防災計画を改訂していくというようなちょっと時間かかる作業なんですけども、順番にしていくというのを大きな流れがございますね。計画ができるまでに何とかしていかなあかんということで、またいろんな形で啓発とかさせていただきたいと思っておりますが、大きな枠組みとしては府の計画があって市の計画で城東区の計画というふうに大きな流れですすめていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○谷口部会長

言うてすぐに無理やと、もうちょっと時間がかかるいう。

○渡邊課長

大きな計画と、大きな話としては本当に自助共助っていうのが大事になってきますので、今まで勝手に行政がつくるのではなくて、自助共助を含めた形の計画にしていくというような大きな方針は出てますので、それまでの間の詳細というのは個別に情報提供していくっていう形。

○谷口部会長

ただ、きちっとしたものができる前でよろしいから、例えば城東区長がこうしたい、城東区がこうしてほしいというもんがあったらこれは先にぶちあげておいてもええわけでしょ。それで全体はこうする、ああするという話になるんであって。例えば地域で今のうちから用意をする、できることというのもありますよね。近くに大きなビルがあったらそこを避難場所をお願いするとか、これは全国あちこちでやってることですけども。そういうきちっとしたものができるのは時間かかっても構いませんけども、大きな話だけちょっと出してもらえたらありがたいかなと、そのように思います。

○細井区長

そうですね、ちょっと先ほど私が言いました拠点をふやして避難物資をふやして、またテントとか授乳中の人とかお薬とかあぁいったものもどんどん備蓄物資をふやしております。それと消防署と連携しております、密集市街に消防署が入れないような、あぁいうところは今大阪市が全体で見直しをかけておりまして、城東区にも若干ありますので、そういったところも消防署のほうは火災のほうをまず懸念されてるんですね。それを消したらそんなに津波は多分来ないだろうみたいな一つの見解なんですけども、来たときのことも考えて、とりあえずまずは食べる物、逃げ場所、それと拠点をふやす、このスピードでだいぶと自助共助でたくさんの方の命が助かると思っておりますので、それは早ければ3月ぐらいの広報で簡単ですけどもこんなでどうですかとか、もしよろしければまた地域の防災のまちづくりにまたお越しいただければそこで簡単に、今はこういうふうなことをやってますっていう計画案ですけどもお出しさせていただきます。よろしくお願いします。

○谷口部会長

ありがとうございます。ほかにございますか。

○小西課長

先ほど藤田さんのほうからありましたフラワーロードの件なんですけども、私はここ数年ゆめ〜まち〜未来会議の皆さんがフラワーロードを城東区のメインストリートにしていきたいという話とか伺っております。ただフラワーロードつくるにしろ何せスタッフというか、継続してしないといけないということではなかなか人が育っておりません。城東区としてはもともと花

と緑の豊かな地域にしたいという動きがございます。その中で今現在はなびとコスモスタッフのメンバーとかグリーンコーディネーターを養成して少しでも多くの方に担っていただく、担い手を今現在つくっております。ただ担い手づくりというのもきょう言ってすぐできるものでもありませんので、ただ担い手を多く育てていただいて地域の花づくり、それに協力していただく方がいかに多く出ていただくか。それとあと前にも言ったと思うんですけども、できれば自分の家の前だけでもきれいにしていただければより広く城東区きれいになるんじゃないかなと思っております。ただ花の供給というのが今現在の種花広場、諏訪と鳴野さんは独自に種花から進めていっていただいているんですけども、今現在鯉江公園ところに種花広場の基地をつくっておりますが、何せ当初「ゆうゆう」（の隣）にありました種花広場の面積的に4分の1になってしまっております。ただ皆様御協力いただきまして、ただ出荷量は2分の1ぐらいまでに抑えることができてるんで、何とか今地域のほうに協力させていただいてるところです。これもこれからまたそういう基地をふやして行って、より多くの種花、花苗を地域に配ればまちが花で埋まっていくということになると思います。そのための御協力をいただければと思っております。そのゆめ〜まち〜未来会議の皆様については地域の清掃とかもしていただきながらまちの花を、また、まちを花できれいにしていいただくという動きをずっとしていただいておりますので、その御協力を今これからも一緒にやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。それとさっき女性会の方を言うておられたんで市の女性会のほうなんですけども、なかなか今組織的にやめていかれる女性会が多くなつてます。市の女性会自体も危ぶまれておるところなんですけども、引き続き女性会を続けていかれるということは聞いております。ただこれから市の女性会、どういう形で動かれるのかはまだこちらではわかりません。ただ城東区の女性会は一昨年あたりから市の女性会が学習活動とかをかなり縮小してきております。城東区の女性会はその女性学級という形でやっておるんですけども、城東区はその女性学級を市のほうはやめていったということもあるんですけども、城東区は地域学級という形に名前を変えて引き続きしております。特に今は女性会だけではなく、男女共同参画ということで男性の方にも入っていただくという形で活動しておりますので、昨年12月の5日でしたか、区民ホールのほうで公開講座という形で成城高校の山口先生のお話を聞いていただいて、あのときは120人ぐらいの方、女性会の地域の学習会という形では多いほうの参加ということになっております。そういった形で女性会につきましては城東区といたしましては各校下、16校下、着実に活動していただいております。以上でございます。

○高橋委員

ごみをとりにさいというようなことを言うてもろたら困る。みんなきれいにしようとしてるし、あっちこっちごみが散らばってるというようなことは、みんな一生懸命地域清掃してるんやから、区役所がそんなこと言われたら片腹痛いわ。

○小西課長

やっぱり地域の方はそれに対してきれいに片づけていただいている方もあるわけですから。

○高橋委員

城東もきれいなまちですよ。

○藤本委員

藤本といいます。市長の橋下さんが今一生懸命5つぐらいに区割りをして都構想というのを言われてるんですけど、本当のところ城東区はどういうふうになるのかなというので、区役所もなくなるのか、区長さんもいなくなるのか、その辺がちょっとイメージが最近メディアで一生懸命言うてはるから、これを考える上で活気ある城東区ということで一生懸命私も寝ないで一時えらい請け負ったんですけど、それがずっと新聞とかで報道されて盛んにテレビでも出てきて言うてはるから、どうなるのかなというのがあって考えにくいっていうか、身近なことを高橋さんも進めはって私もその意見に賛成ですし、いろんなことをやっぱし城東区としてもやっていきたいというふうに思ってるんですけど、それが頭にあるからこの城東区がどうなっていくのかなというふうな不安のほうが大きくなって考えれないっていうのか、どういうふうになっていくのかというのが、バーンと言うてはるばっかしなんですけど、どうなんですかね。だからその辺がどうなるのかによってすごい私らが考えてることが本当によくなって考えていけるのかいうことをちょっと聞きたいなというふうに思うんですけど。自転車の問題にしても私は自転車に乗ってるほうやから危ないな思うから自転車の通行されるところのレーンでもつくっていただいとかね、そういうようないろいろ思ってるんですけど今ないですから、危ないからこっちへ歩道のところについてしまうし、歩道のほうから走ってはったらまた危ないしっていうので、やっぱり自動車レーン、自転車のレーンをつくらせていただくとかいろいろそんなことも言わなあかなとか思ってるんですけど、その辺はどうなんですかね。

○末永副区長

副区長の末永ですが、今都構想いわゆる私ども特別区の構想と申し上げてるんですけども、これにつきましては今現在4つの案が5区案と7区案、その中央区と北区を一緒にするかしないかということで4つの案が出ておりまして、それを今法定協議会といいまして大阪府の議員さん、大阪市の議員さんが集まってそれで協議をされてる法定協議会というところで今議論をされておりまして、今まだどれになるかと、どのようにしていくかというのはまだ決まってございませんし、今その枠組みの議論を法定協議会でされておりまして、新聞報道のことで市長のほうで5区案で中央区と北区の分離方式5区案というふうなことで今おっしゃって発言をされてるんで、それで決まったかのようになっていることがございますが、実際はまだその法定協議会の中でどれというふうに決まってるわけでもございませんで、大阪市長の思い、市長も実施しようという立場と政治家という立場がございますので、そういった考え方で御説明されてました。今私ども行政としましては、まだ特別区のスケジュールは示されておりますけれども、5区になる7区になるというのはまだ決まってございませんので、仮にそういった特別区構想になりましても地域の皆さん方、住んでおられる人々が変わるわけではございませんので、その運営方針といいますのはまずは昨年お示ししましたけれども5年後の将来的なビジョンを示して、それについて毎年この年度はそういったことをしていこうかというようなことで、まず5年後の将来ビジョンというのをまず掲げまして、それに向けて毎年これこれしていこうということを議論していただく場がございますので、今先ほどから出ておりますようにもし城東区の歩道から電柱をなくしていこうというようなことを掲げてやっていけばそれは着実に進めていくという、そのためにはいきなり全部の電柱がなくなるわけでもございませんし、毎年こしはそしたら関西電力さんと話していこうとか建設局と話していこうとか、もしかしたら物理

的にできない場合もあるかもしれません。そういったことを、もし方針と掲げてゐるならばそういったことも取り組んでいこうと思いますし、先ほどの防災の話につきましても5年後には城東区を安心、安全なまちづくりにしようという城東区長の方針がございますので、それに向けて来年は防災に力を入れていこうということなので、まず南海トラフの話が出てきましたのでそういった意味では1つでも避難ビルの提携でありますとか、ちょっときょうは防災部会でないので2ページのほうには防災関係を書かせていただいておりますけれども、先ほど部会長おっしゃったように高いビルとの提携をしていこうじゃないかとかそういった身近でできること、地域でできることをまずやっていこうというふうに考えておりますので、特別区構想と新聞記事なんかであれかもしれませんが、でも地域は全然変わりませんので、皆さんがお住まいの地域は変わってございませんので明日の城東区をどうしていくかっていうのはまず皆さん方でつくっていただけるというふうな形で御検討いただければと思います。

○藤本委員

城東区に税金を納めてゐる私たちは別に城東区であるということですね、間違いなく。城東区は潰れないとか、例えば変な名前になるのか違う名前になるということはないわけですね。

○末永副区長

その名称も含めまして今現在検討中でございますので、どこの区がひつつくかとかいうのもね。

○藤本委員

そんなことはないわけですか、城東区はあるわけですね。

○末永副区長

城東区としての地域としては当然ございます。ただ区名のお話をされますとまたどうなっていくかあれですけど、皆さんが住んでおられる方おってこれからここが出ていってください、そんなことないわけですから、地域としては残っていきますので、地域をよくしていく、皆さんが住んでいる町をよくしていくわけですから、それについては皆さんが住んでるという事実は特別区になっても変わりございませんので。

○永安委員

単純に言うと、先決めて何でもとっておくと、城東区で現在ね、そうすれば一緒になってもこれ決まってるということで城東区が先にもうやってるとそういうことを考えてみんなでやっていくのが一番いいんだと。

○萩原委員

萩原と申します。ゆめ～まち～未来会議としての出席なんですけど、その前にまちづくりとして提案といいますか、先ほど高橋さんも女性部のなり手がないんやっておっしゃってました。鳴野でも見てましても担当していただいているスタッフ、まちづくりのスタッフが年々を重ねまして結構若手の方があまりいらっしゃいません。多分それはほかの小学校下でも同じことが起きてるんじゃないかなって推測します。それは地域活動協議会を皆さんお金あげるからつくりなさいみたいな感じで、皆さん作らほりましたけど、それだけではなくて新しい若い人たちをどうやって入れたらいいのかっていうそういう仕組みづくりも一緒になってやっていかないとけないときがきてるんじゃないかなって思います。それは各地域だけに任せるのではなく

て、研修会を開いたり若い人をどうやって参画したらいいのかなっていうことをみんなで考えるそういう場を持って、一つ一つなんかこう、市大の先生かなんか呼んでいただいたりとか学習会を開いたりとか、どうしたら若い人がこのまちづくりに興味を持つのかっていうところから始めていって、敷居の低い地域活動を構築していくときが来ているような気がします。それはやっぱりある意味区役所主導といいますか、こういうことをしたらどうでしょうかっていうところを今の地域活動協議会のほうにおろしていただけないと、地域活動協議会だけに任せていたらそれはちょっと無理なんじゃないかなって思います。敷居の低い、若い人がもっと参加しやすい地域活動を構築していただけたら、もうちょっと活気のあるまちづくりができるのではないのかなっていうことをゆめ～まち～未来会議をしていてよく感じることです。あともう一つは、１１月にＳＡＲＵＧＡＫＵ祭を開催させていただきまして、各種団体の皆様、そして区役所の皆様と私たちゆめ～まち～未来会議のスタッフ、本当に力を合わせて絆づくりに励んでまいりました。おかげさまで事故もなく、反省するところは多々あるんですけれども一応第２回目を無事終了させていただくことができました。本当にありがとうございます。今月の２１日には参加していただいた各種団体さんとの反省会、意見交換会を開催いたしましたし、皆さんからの貴重な御意見をいただいて、こんなんやったらどうやとかここはあかんかったんちゃうのという率直なお聞きしまして、またこの第３回目につなげていきたいと思います。その中でゆめ～まち～未来会議は、今年８年目になるんですね。あと２年たったら１０年目になります。これを始めたときは５年先、１０年先の城東区をすてきなまちにしようということで、各連合から推薦をいただいたスタッフと公募で入ってきていただいたスタッフが大体４０数名、皆力を合わせて今までやってきたんですけれどもこの結果が今度１０年目になるんですね。それに照準を合わせてＳＡＲＵＧＡＫＵ祭も１つの成果としてやっていきたいと思います。各連合の皆様、そして各種団体の皆様のますますの御協力と、そして区役所の協働も切にお願いをして、このＳＡＲＵＧＡＫＵ祭、そして第九、２月の１３日には城東区の第九演奏会も開催いたします。あと合唱祭とか先ほどお話に出てましたフラワーロードと、自分たちのまちを自分たちでつくろうというこのビジョンで私たちは今頑張っています。各種団体がそれぞれ別々に活動するのではなくて、ネットワークを結んで何かをしていくことで城東区のきずながより深まるのだなということをこのＳＡＲＵＧＡＫＵ祭を通して私は深く実感させていただきました。これからの御協力を切にお願いいたしますし、終わりといたします。ありがとうございました。

○谷口部会長

どうも、ありがとうございました。そろそろ時間も参ってきとるんですが、あと鍔さんだけだ。鍔さん、ひとこえ。

○鍔委員

すいません、時間いただきまして。私のほうは地域活動とかそういうものに今まで参加させていただいたことがなくて、部会の課題というか内容は話させていただくこともできないんですけども、この運営方針を読ませていただいた上で若干の感想というかを言わせていただきたいというか。書いておられるんですけども、やはり区ってというのが全ての区民に健康で安全で文化的でかつ快適な暮らしというか生活を進めていくための環境をつくっていく。また動線づ

くりをされていく。そして予算を裏付けていくというようなことがあると思うんですけども、その上でここに書いておられます区の特色であるとか地震であるとか、いろんな自然環境であるとかあるいは社会的な資源であるとか、また社会の情勢、動向であるとか、そういう時代の流れ、あるいは社会の情勢にとってこの目標というのが出てくると思うんですけども、今後も運営ということで区役所の業務というのがされてこられてるんですけども、これが例えば健康福祉であるとか暮らしに直結するものであるとか、あるいは防災あるいは安全、先ほどから防災の話出てるんですけども、防災と災害対策あるいは危機管理というのは若干またちょっと分けて考えておいていただきたいです。あるいは子育てであるとか家庭であるとか教育であるとか産業振興であるとか、あるいは環境であるとかいうふうに多くのお仕事していただいているんですけども、この経営課題というのがここから出されてくるというふうに思わせていただくわけです。城東区としましては今例えば経済問題であるとか学力問題であるとか、あるいは児童の虐待であるとかいうふうな緊急性を要する問題というのは今私たちはですけども、その資源とか言動とか課題とか、そこからこれが出てくるとすればこれだけでええのかなというふうに思わせていただいているんです。とか、これに集約されているのかなというふうがあるわけですけど。今年度の経営課題ですけども、これ誰に向けておられるのかなというふうな、前から思っているんですけども何を指すのか、区民一人一人に向けていただいているのか、あるいは区役所の職員の方たちの行動基準なのか、あるいは区とか行政の、そこがもう一つよくわからなくて、経営課題をお示しとか、具体的にされるのであれば全ての行動基準がここにでてくるだろうと。そして何かやるときの基準がこれにもとづけられるだろうというふうに私なんか把握するんですけども。例えば人が輝き、活気にあふれというふうに書いていただいているんですけども、輝くまちなのかあるいはにぎわうのか栄えるまちなのか、あるいは育む未来とかそうなのか。だとすれば将来世代と言うんですか、そういうところ辺を育んでいくというのも今後の城東区をつくっていく上では必要であるであろうし、そうすると次世代ですよ、例えば自立的にたくましく生きぬいていくという、子供たち次世代を育てていくのは絶対に、そのために今区としてやっていかれるのか。どういうふうに動いていくのかとかあると思うんですけども、育まれていくこととか言ったら自然に育む、誰が育むんかなっていうふうにいつも、輝く城東区をつくられんのかあるいは図られるのか、多分ここに動機っていうか決意というかがあると思うんですけども、それが省かれた形でこういうふうになっておられるんやろなというふうに理解はさせていただくんですけども、そうなんかというふうになんかと思わせていただきました。誰に向けてなんかよくわからないんですけども、だとすればもう少し明朗、簡潔っていうか、そういうふうな表現でやっていただき、なおかつこのキャッチフレーズですね、スローガンはこれなんですけどこれに対応するものがここに出てこなければいけないのかなというふうに。人が輝くということはどういうことなのか、あるいはまちが活気にあふれる、にぎわっていく、栄えていくということはどういうことなのか、というようなことをもうちょっと、もちろんあるのはわからせていただくんですけど、もう少し整えていただけたらもっと一人一人のものになるのかなということを読ませていただきました。先ほどは防災危機管理、先ほど御説明いただいたんでよくわからせていただいたんですけども、自助共助やはり公助ですよ、基本的には拠点になっていただく、総合的に全体的にやはりリードして

いただくということをお伝え申し上げて、全然ずれた話で大変恐縮でございますが。

○谷口部会長

ありがとうございます。しっかりとまとめていただきました。ありがとうございます。最後に中山さんのほうで何か一言、それで全員ですから。

○中山委員

時間も押しておりますが、ちょっと7ページの今鍔さんもちよっとお話なつたですけども、経営課題のところが細かいところへ持ってきてもうちよっと細かくなつてゐるんですが、これはよく見ますと問2の24区中11番目とか細かい数字まで入つてゐるんです。これは省いてですね、隣と同じような大きさにできたら読みやすいかなと思つておりますので、そんなことができないものでしょうか。奥野課長お願いします。

○奥野課長

まず文字につきましては、正直言うてこの同じサイズにしたらページが2ページ、3ページにもわたるんでこういう形で今回はさせていただきました。しかしさすがに見にくいということもありますので、少し考えさせていただかなあかんのかなというふうに思つております。これはこれとして資料というのはそれよりもう少し大きな字で出すのもいいのかなというふうに思つてます。もう一つは、先ほども区の運営方針って誰向けにっていう話がありましたけども、区の運営方針は市民、区民に対して城東区のある意味重点的に取り組む課題を明らかにするものということでございます。したがいまして、区の運営方針には区役所がやることが全て網羅的にやるという意味ではなくて、区の中でいろいろやらなあかんことというのはたくさんありますけれども、その中で重点を絞つて書かせていただいてるということでございます。したがいまして、ここに書いてないから城東区はやらないとか軽く思つてるとかそういう意味ではありませんので、経営課題について特に防災、福祉、まちづくりを3つの3本柱として最重点で取り組むというような考え方です。人が輝き、活気にあふれてる根本的なお話なんですけれども、城東区というのは住のまちというか人口密度も1位ということもあつて、城東区の大きなまちのあり方としてはやはり人というか住んでる人、住のまちというのを基本的にはやはり据えていかなければならないのかなと。そこら辺は極端に言えば北区や中央区のような事業所があるようなまちとは少し違って、城東区の特性というのはやはり住のまちというのが1つの大きな柱かなと思ひまして人が輝くということで、少し輝きというのが抽象的なことになるのかもわかりませんけども、それぞれの城東区の区民の人が本当に生き生きと輝いてという言葉を使ひましたけども、活気にあふれたそういうまちになつてほしい、人というか城東区民一人一人がそういうふうになつてほしいなというようなことで、人が輝き、活気にあふれるということ。そして人が輝き、活気にあふれてるところというのはまちも輝いてると。そして愛着を持つて城東区に住んでいただいているというようなことになるのかなという思いを込めまして、輝く城東区というふうに書かせていただいて、これを区の将来ビジョンということで書かせていただき、また城東区のある意味キャッチフレーズというんですか、スローガンっていうんですか、そういうふうな形で述べさせていただいてるということでございます。なかなか書き方自体が、そうは言いながらかなり行政用語的なかたい言葉に占められてますし、また今一方では行政はPDCAということで経営課題でも見ていただくように課題があつて戦略があつて目

指す状態があつて、それに基づいて具体的取組があつて、また業績目標がという立て方を行政として明らかにしなさいということになりますので、かなりある意味我々区の職員もこれを見ながらといいますか、これに基づいてP D C Aの徹底ということでやっていますので、職員向けの要素というのも多分には入っているところではありますけれども、そういった区政運営を地域というか区民の方にお知らせするという事で、特に区政会議の1つの課題がそういった集まっていた区民の皆様こういった城東区の課題をこういうP D C Aに基づいた形で御議論をいただくということになります。したがいまして、また次のこの振りかえりといひまして、次に次回7月ごろですか、また区政会議をやらせていただくんですけども、そのときにはことし今25年度に取り組んでいるこの運営方針について業績目標、具体的取組がどれだけできて、業績目標がどれだけできたかというようなことをまたお知らせして、また御意見をいただくというような形に。それを踏まえて新しい7月でしたら27年度予算に向けてというようなそういうサイクルをやっていくツールだということで、ちょっといろんなことを区の運営方針に込め過ぎてるんで、何となく誰に向けてっていうのがちょっとわかりづらいところではありますけれども、そこら辺はまたこちらの説明も追々させていただきまして御理解いただきたいというふうに思っております。以上でございます。

○谷口部会長

ありがとうございます。

○高橋委員

ちょっとね、もう一遍ちょっと。

○谷口部会長

では、手短に。

○高橋委員

実は先ほど、子どもの若い人たちの出席なり参加というのが出ましたんですが、地域としてもほってないんですよ。女性会にしても地域の若い人。先日もふれあい喫茶に生バンド呼んできて若い人を呼び込もうとしたんです。ところが来ませんね。第一、子ども会の役員さんを決めるのに選挙せな決まらないという、こんな状態ではとてもやないけれど、子どもたちの幸せはないんですよ。もっと積極的にふりまわしてあげよう、子どもたちを大いに楽しませてやろうというような。無理やりに役員さんになるというような抽選制度なんですよ。これではみらんですね。我々は本当に一生懸命に地域として、地域の連合の会長さんも一生懸命やってくれてはと思うんです。だけど結論的にはそんな状態なんです。こういう時代。時代ってあきらめたらいいかんですが、我々はもっとやっぱり積極的にやりたいと思います。ちょっと言いわけしておきます。

○谷口部会長

どうも、ありがとうございました。本日御発言いただきました御意見につきましては、事務局のほうでまとめた上で、また次の会議の中で御報告ができるようにしてまいりたいと思いますが、よろしゅうございますでしょうか。

(はい)

○谷口部会長

ありがとうございます。それでは、本日御出席いただいております飯田さん、ホンダさん、一言御助言いただけることがございましたらば、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○ホンダ議員

年齢が上のほうからきょうは発言させていただきます。本当きょうは寒い中、皆さん、遅くまで御出席お疲れさまでございます。地域のことをたくさんまた勉強させていただきました。ありがとうございます。防災の件、とっても皆さん興味、関心があるんだなということがわかりまして、大阪市ではあした、大阪市防災会議が開催されます。区長も出席されます。この中で議題に挙がってくるのが、地域防災計画を策定するというものが挙がってきますので、皆さんまた地域の中で避難経路だとか救援物資だとかそういったことを部会でまた話し合ってくださいことになるのかなと思っております。あと、お話出てた女性部・会の件ですね。私もことし男女共同参画の委員をさせていただいてまして一から勉強させていただいてるんですけど、大阪市としてはダイバーシティという名前に変わりました。私も何それっていうところから入ったんですけど、多様性っていうところで共同参画の委員の方には男性の方もいらっしゃって、看護師の男性の方が男性が育児休暇をとるためにはどうしたらよいのかということとか、一生懸命考えておられることとかを勉強させていただきまして、私の時代も先輩方の女性の方が頑張っていたいてくださったおかげで建築業の仕事をさせていただけたんですね。だから女性の教育っていうのもすごくまだまだ必要だと思います。日本は男女平等と言われつつもというところがあると思っております。そこを参考にさせていただきました。高橋会長が最後締められたように地域の役職の方とあと地域でほかの活動されている方がこういった区政会議で意見を交わされることがこういった部会のとてもいいことやと思うので、こういった意見をどんどん持ち寄ってもっともっと深い住民自治ができればいいなと思っております。あと、SARUGAKU祭、私も見させていただいたんです。ホールも大変賑わってまして、蒲生グラウンドでおいしい野菜とかも売っていておいしい里芋に当たりまして、とてもいい行事されているので、地域のまた新しい担い手のためにも新しい行事、あと連携するっていうこと、私もすごく大切やと思いますので、今後とも勉強させていただきたいと思ひます。きょうは皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございました。

○谷口部会長

ありがとうございました。それでは飯田さん。

○飯田議員

どうも、飯田でございます。きょうはありがとうございます。議会もことしに入りまして、来年度の平成26年度の予算の決定に向けまして私どもも議論をさせていただくというような時期に入ってきております。そういった過程、本日いただきました御意見も一生懸命メモとらせていただいたんですけれども、予算の議論に反映させていきたいなというふうに思っております。そして特別区の設置の議論とかもあったんですけれども、本年の末ごろに何とか皆様にお決めいただくような形で最終、やるかやらへんか含めてでございますけれども方向性が出ていくというような形になっておりますので、御期待されていらっしゃる方もいらっしゃると思います。そして御不安に思われてる方もいらっしゃると思います。いろいろ我々その政治のサイドも行政のサイドも答えを出していけるように最善を尽くしていきたいなというふうに思っているところで

ございます。そして高橋会長最後におっしゃっておられたんですけれども、やっぱりほんまに地域の方々一生懸命いろんなことに取り組んでいただけてるというふうに思っているところでございます。若者の参加ということで私もなかなかその地域の行事に参加するというのはなかなか難しいんですけれども、やっぱり行かせていただきますと御高齢の方が中心になっていて、どんどん年齢が下がるに従って選挙と一緒になんですけれども参加率が下がっていくというような状況になっているかと思います。だけどきのうでもそうやったんですけれども成人式で86人きのうもお見えになっておられましたけれども、やっぱり皆さん地域に愛情を持って、そしてそこに縁を持って全国どこにいても集まってくる、そして終わってから何人かとお話してたんですけれども、ツイッターで一生懸命きのうこんなんに会ったよとか、そんなんを流している子もいましたけれども、本当にこれは各校下で成人式やられてたと思うんですけれども、そこに対する愛情っていうのが年齢問わずあるんだなと。年齢高くなっていくからいろんな活動をやってその地域に愛情っていうわけじゃなくて、やっぱり育ったところ、生まれ育ったところに対する愛情っていうのは二十歳前後でも強くあるんだなというのを見させていただいた、感じさせていただいた。そしてその次、どうやって参加をしてもらうのか、本当生バンドも好きなんでやっぱりどう広げていくかやなというふうに思っております。聖賢でフェイスブックでいろんな活動を紹介したり、いろんなツール使ってやってるんですけれども、区役所もやっぱりそういうのをぜひとももうちょっとツイッターですとかフェイスブックですとか使って、若者にいろんな活動、地域でやってるんで入り込んでくださっていろいろなのを構築していただけたらなというふうに思っているところでございます。成育でも実は何人かフェイスブックめちゃくちゃ一生懸命地域の役員さんがやられておりまして、きょう、今こんなんやってます、今やってます、今からでも参加できます、そういうような告知をたまに目にすることがございます。ぜひとも区役所もそういうもの、職員さんが携帯片手に何かやってると仕事してないんじゃないかと言われるかもしれませんけれども、やっぱりそんな住民参加、区民参加、市民参加っていう形も今からの時代あるんじゃないかなと。避難訓練だってそうやと思うんですよ。今やってます、来てくださいでもいいと思うんですよ、ツイッターとかフェイスブックで。そういうので若者の皆さん、そしてこれまで参加してきてくださった方々は回覧板で集まるというんですか、来ていただける方と新しいツールで集まる方の連携でこそ、まちづくりっていうのがより深まっていくんじゃないのかなというふうに思ったところでございます。自分も含めてできることをきょうからやっていきたいというふうに思いました。きょうは、ありがとうございます。

○谷口部会長

お二方、ありがとうございます。それでは、本日の議題は終了いたしました。皆様、活発な御意見本当にありがとうございます。あとは事務局のほうで、よろしく願いいたします。ありがとうございます。

○奥野課長

谷口部会長、ありがとうございます。そして皆様、ありがとうございます。最後に私のほうから事務連絡させていただきます。これまでの御意見、あるいは本日いただきました御意見を踏まえまして今、ご提案させて頂いています、区の運営方針案、さらにブラッシュアップ

させていきまして作成することといたしたいと思います。そして次の２月５日の開催の本会で平成２６年度城東区運営方針案として皆さんにお示しさせていただいて、そちらでまとめさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。あと、本日議題のあとにアンケートをおつけしておりますので、またこちらのほう資料２と書いておりますけれども御協力のほうよろしくお願いいたします。本日はもう遅いですので、お時間のない方は後日またファクスで御返信いただければというふうに思っております。それでは、本日はどうも長時間ありがとうございました。

閉会　２０時４５分